



千葉工場（印刷物の製造拠点）

- 本社所在地：東京都中央区
- 事業概要：各種ポスター・カタログ等の
高品質・短納期対応を特徴とした
製版・印刷・加工・発送を主業務
- 常時使用する従業員：188名
（2026年3月期）
- 現在の売上高：35億円
（2026年3月期）
- 法人番号：6010001048107
- Web：https://www.central-p.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
田畠義之

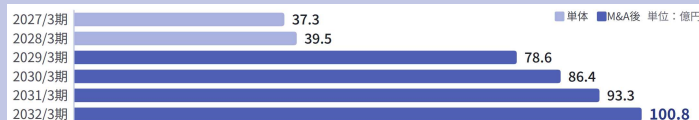
「選ばれ続ける品質を」

当社は製版から印刷・加工まで一貫生産体制を構築し、超高品質と超短納期という相反する課題を同時に解決するため、最新鋭の設備を積極的に導入してまいりました。これらの設備の最大有効活用と相乗効果的な運用に注力し、高度な管理・運営と技の研鑽を重ねることで、他社の追随を許さない高付加価値を築き続けてきた結果、クライアントから高い評価をいただき、永続的に売上を伸ばしてまいりました。これからも怠ることなく「選ばれ続ける品質」を大事にしながら、進化と深化を徹底的に推し進め、差別化を極大化させてまいります。顧客ニーズに対するオンリーワンの対応を実現することで、プラスのスパイラルを回し続け、2032年3月期に100億円売上を達成いたします。この成長路線の永続化を具現化するため、全社一丸となって邁進することをお約束いたします。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の達成に向けエンタメ関連の高品質な印刷需要の取込みを筆頭に、M&Aも含め売上高の年平均成長率27.2%を実現していく。



課題

【大ロットにおける全量で高品質を維持する体制の構築】

エンタメ関連印刷物を中心とした高付加価値案件で大ロットの印刷需要に対する当社の対応許容量が課題となっている。受注量の増加に応じて生産能力を拡大しつつ、全ての製品において均一な高品質を維持するための機械設備および技術確立・人材増強・人材育成の更なる強化が必要不可欠である。また、短納期への対応力の強化も含め、生産効率と品質安定性を両立できる工場環境のスペース的、機械的、人的整備が急務となっている。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成に向け段階的な設備投資を実施する。まず①千葉工場の既存平屋建物を二階化し、生産スペースの確保と生産導線の最適化を図る。この工場増築により生産効率の基盤を整えた上で、次に②高性能9色印刷機を導入し、生産能力の飛躍的向上と高付加価値製品への対応力を強化する。同時に③製本・加工機を更に増設することで、一貫生産による生産力の増強、短納期対応の強化、品質の向上、収益性の改善を達成する。これらの施策とエンタメ関連の印刷会社のM&Aにより差別化された一貫生産体制をさらに強化し市場競争力を高めることで、100億円の目標を確実に達成しさらなる成長に繋げていく。

実施体制

【実現への計画実行・千葉工場 人材育成計画】

社長および役員をはじめ各部門長を中心に本計画を着実に推進していく。

工場増築も含め生産拡大を見据え、地域からブルーカラー人材を大幅に採用し、高い技能と高品質な製品づくりを担う人材を計画的に育成する。

- ・印刷機オペレーターの育成、印刷機の特性を理解した高品質生産、高いトラブル対応能力の習得
- ・製本・加工技術者の育成、多能工化の推進によるフレキシブルな生産体制の構築
- ・品質管理人材の育成、品質保証体制（仕組化）を強化